

(家庭) 科調査研究報告書

書名 観点	東京書籍 第1・2・3学年家庭分野 家庭724 新編 新しい技術・家庭(家庭分野) 自立と共生を目指して
取 扱 内 容	○ 家庭分野の目標を達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「A家族・家庭と子どもの成長」において、これからの家族関係を考えられるように、家庭や家族の機能を知り、中学生として家族について考えたり、幼児と触れ合ったりする活動 ・「B食生活と自立」において、中学生の食生活に関心を持ち、生活の中で食事が果たす役割を理解できるように、栄養のバランスのとれた1日分の献立について考えたり、肉や魚、野菜などの調理をしたりする活動 ・「C衣生活・住生活と自立」において、実生活の中でも実践できるように、住まいの安全や災害に備えた住まい方について考えたり、トートバッグやウォールポケットなどを製作したりする活動 ・「D身近な消費生活と環境」において、消費者として主体的に行動できるように、消費者トラブルを解決する方法について理解を深めたり、エネルギー消費を減らす方法について考えたりする活動 ○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、「日本の食文化を追求しよう」や「地域の人と触れ合おう」など、学習を通して習得した知識や技能を活用する学習活動が取り上げられている。
内容の 排列、 構成 ・分量 等	○ 内容の構成・排列については、日本各地の郷土料理や地域の食材を活用した調理を取り上げ、生徒の興味・関心や地域の実態に応じて取り扱う内容が選択できるような構成にするなど、発展的に学習できるような工夫がなされている。 ○ 内容の分量については、「A家族・家庭と子どもの成長」は69ページ、「B食生活と自立」は87ページ、「C衣生活・住生活と自立」は83ページ、「D身近な消費生活と環境」は59ページであり、総ページ数は279ページで、前回より8%増となっている。(B5判からA B判に変更)
使用上の 配慮等	○ 学習意欲を高める工夫について、次のようになっている。 ・食品の概量を手ばかり・目ばかりで、幼児の靴や箸を実物大の写真で示すなど、学習内容についての課題意識や興味・関心をもたせるようにしている。 ・「ひとくちQ&A」を掲載したり、キャラクターが学習のポイントを示したりするなど、生徒が親しみをもって学習できるようにしている。 ○ 主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、次のようになっている。 ・生徒が必要に応じて調べたり、確認したりしながら学習を進めることができるよう、意志決定のプロセスの例示や調理、被服製作等に関する基礎的・基本的な知識及び技能を「基礎技能」としてまとめた資料を掲載している。 ・学習課題を解決する際に、本文の内容より深く理解する上で参考となる内容に「資料」のマークを付けて掲載している。 ○ 使用上の便宜については、次のようになっている。 ・巻頭に、家庭分野の学習内容や学習の進め方、家庭分野のガイダンスを掲載し、生徒が3年間の学習の見通しをもつことができるようにしている。 ・今日的な課題に関する学習内容に「環境」「消費者」などのマークを付けることや、キャラクターが学習内容についてつぶやくことなど、多様な視点から学習できるようにしている。 ・全ての生徒が学習しやすいよう、判読しやすい字体にするなど工夫されている。
その他	

(家庭) 科調査研究報告書

書名 観点	教育図書 第1・2・3学年家庭分野 家庭725 新技術・家庭（家庭分野）
取 扱 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭分野の目標を達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・「A家族・家庭と子どもの成長」において、これからの家族関係を考えられるように、家族の役割や家族とのかかわり方について考えたり、幼児と触れ合ったりする活動 ・「B食生活と自立」において、中学生の食生活に関心を持ち、生活の中で食事が果たす役割を理解できるように、中学生の1日分の献立について考えたり、肉や魚、野菜などの調理をしたりする活動 ・「C衣生活・住生活と自立」において、実生活の中でも実践できるように、安全な住まい方の工夫や自然災害への対策について考えたり、エプロンやきんちゃく袋などを製作したりする活動 ・「D身近な消費生活と環境」において、消費者として主体的に行動できるように、消費者トラブルの解決法と予防法について理解を深めたり、消費行動が環境に与える影響について考えたりする活動 ○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、「だれかのためにお弁当をつくってみよう」や「地域でボランティア活動しよう」など学習を通して習得した知識や技能を活用する学習活動が取り上げられている
内容の 排列、 構成 ・分量 等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成・排列については、全国各地の郷土料理や日本全国のお雑煮マップを取り上げ、生徒の興味・関心や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるよう構成するなど、発展的に学習できるような工夫がなされている。 ○ 内容の分量については、「A家族・家庭と子どもの成長」は65ページ、「B食生活と自立」は78ページ、「C衣生活・住生活と自立」は78ページ、「D身近な消費生活と環境」は64ページであり、総ページ数は286ページで、前回とほぼ同様となっている。
使用上 の 配慮 等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習意欲を高める工夫について、次のようになっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・食品や子どもの手形などを原寸大写真で示したり、料理の失敗例を示したりするなど、学習内容についての課題意識や興味・関心をもたせるようにしている。 ・「コラム」を掲載したり、キャラクターが学習のポイントを示したりするなど、生徒が親しみをもって学習できるようにしている。 ○ 主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、次のようになっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が必要に応じて調べたり、確認したりしながら学習を進めることができるよう、キーワードチェック欄や各章の終わりに「学習のふり返し」、教科書の記述についての詳しい資料を掲載している。 ・学習課題を解決する際に、本文の内容をより深く理解する上で参考となる内容に「参考」のマークを付けて掲載している。 ○ 使用上の便宜については、次のようになっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に、家庭分やの学習内容や学習の進め方、教科書の使い方を掲載し、生徒が3年間の学習の見通しをもつことができるようにしている。 ・今日的な課題に関する学習内容に「安全」「環境」などのマークを付けることや、キャラクターが学習内容についてつぶやくことなど、多様な視点から学習できるようにしている。 ・全ての生徒が学習しやすいよう、判読しやすい配色にするなど工夫されている。
その他	

(家庭) 科調査研究報告書

書名 観点	開隆堂 第1・2・3学年家庭分野 家庭726 技術・家庭(家庭分野)
取 扱 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭分野の目標を達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・「A家族・家庭と子どもの成長」において、これからの家族関係を考えられるように、家庭のはたらきや家庭の仕事を支える社会について考えたり、幼児と触れ合ったりする活動 ・「B食生活と自立」において、中学生の食生活に関心を持ち、生活の中で食事が果たす役割を理解できるように、中学生に必要な1日分の献立について考えたり、肉や魚、野菜などの調理をしたりする活動 ・「C衣生活・住生活と自立」において、実生活の中でも実践できるように、家庭内での事故と安全対策や地震対策について考えたり、道具入れやショルダーバッグなどを製作したりする活動 ・「D身近な消費生活と環境」において、消費者として主体的に行動できるように、消費生活のトラブルへの対応について理解を深めたり、環境に配慮した消費行動について考えたりする活動 ○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、1日3食の献立を立てて食事をつくる」や「1日家事体験」など、学習を通して習得した知識や技能を活用する学習活動が取り上げられている。
内容の 排列、 分量等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成・排列については、地域の食材を活用した郷土料理やおせちなどの行事食を取り上げ、生徒の興味・関心や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるよう構成するなど、発展的に学習できるような工夫がなされている。 ○ 内容の分量については、「A家族・家庭と子どもの成長」は63ページ、「B食生活と自立」は78ページ、「C衣生活・住生活と自立」は72ページ、「D身近な消費生活と環境」は66ページであり、総ページ数は278ページで、前回より5%増となっている。
使用上の 配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習意欲を高める工夫については、次のようになっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・著名人や専門家の話を掲載したり、実物大の食品例を示したりするなど、学習内容についての課題意識や興味・関心をもたせている。 ・「豆知識」を掲載したり、キャラクターが学習のポイントを促したりしながら、生徒が親しみをもって学習をできるようにしている。 ○ 主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、次のようになっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が必要に応じて調べたり、確認したりしながら学習を進めることができるよう、教科書の記述を補足する図・表や「ミシンの使い方」などの小学校で学習した基礎的・基本的な内容を想起する資料を掲載している。 ・学習課題を解決する際に、本文の内容より深く理解する上で参考となる内容に「参考」のマークを付けて掲載している。 ○ 使用上の便宜については、次のようになっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に、家庭分野の学習内容や学習の進め方、教科書の使い方を掲載し、生徒が3年間の学習の見通しをもつことができるようにしている。 ・今日的な課題に関する学習内容に「消費・環境」「防災」などのマークを付けることや、キャラクターが学習内容についてつぶやくなど、多様な視点から学習できるようにしている。 ・全ての生徒が学習しやすいよう、判読しやすい配色にするなど工夫されている。
その他	